

長野市立

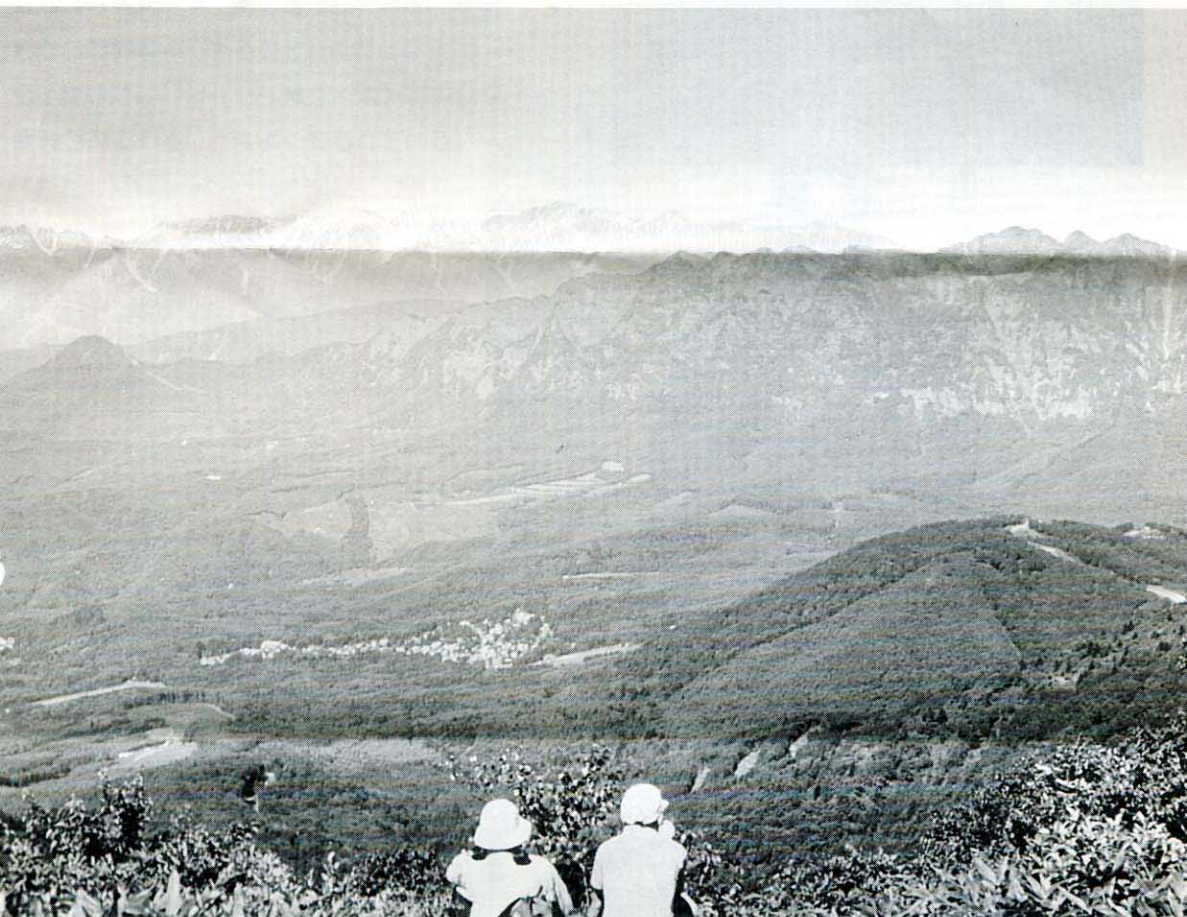
# 博物館だより

第29号

第35回特別展

## 信濃の山岳信仰

1994年10月2日(日)～10月23日(日)



飯綱山頂より戸隠連峰・北アルプスをのぞむ

信濃は山国といわれ多くの山がそびえています。そして、山のなかには、古来から信仰の対象として崇められてきた山も多くあります。こうした信仰の山として、戸隠山や御岳山はことに有名です。また、長野市の象徴ともいえる飯縄山も、その信仰は古くから確認され、殊に、上杉謙信や武田信玄の飯縄信仰は有名です。また、松代の皆神山も中世の仏像が現在も伝わっており、近ごろ皆神社の社殿一棟が長野県の指定を受けました。このことから皆神山の信仰の古さがわかります。

今回の展示では、飯縄山、戸隠山、皆神山の信仰に関係した仏像などを中心に、長野県内の山、具体的には、北は黒姫山・斑尾山から、南は針伏山・御岳山まで、指定文化財16点（国重要文化財2点・県指定3点・市指定11点）を含む計84件の資料を一堂に展示します。

主な展示品としては、飯縄山の本地仏である銅造地藏菩薩像、上杉謙信愛用の飯縄権現の兜の前立、上杉謙信・景勝使用の印章（重文）、武田信玄奉納の飯縄権現像図（山梨県指定）、戸隠奥社の本地仏である聖観音菩薩坐像（県宝）、顕光寺流記、牛伏寺の蔵王権現像（県宝）、岩殿山の御正体（重文）などです。



#### ◀銅造地藏菩薩半跏像

戸隠村 公明院

岩座に半跏する地藏尊像で、かつて飯縄神社里宮にあった飯縄山別当本地院の旧本尊。背面に次の刻名がある。「飯縄山地蔵菩薩右意趣者為大施主源 文珠丸 大願成就故也 応安二年（1369）八月廿二日 千日太夫」



謙信愛用の兜の前立.....▶

栃尾市 常安寺

(栃尾市指定文化財)

大正四年に米沢上杉家より送られた。謙信が関兵の儀式の時に兜に着用したもの。箱書きから飯縄明神であることがわかる。なお、伝・謙信所用甲冑(上杉神社所蔵)の前立が飯縄明神であることはよく知られている。



◀金銅十一面観音釈迦聖観音御正体

坂北村 岩殿寺(東京国立博物館保管)

(重要文化財)

筑北の中心的な修験道場岩殿山の、三所権現本地仏を半肉彫りで表した懸仏。鎌倉時代の懸仏の代表的作例である。裏に建長元年(1249)僧幸万が現世と来世の安穏と寺中繁栄などを祈り奉納した旨の針書銘がある。



◀飯綱神社文書

東京都 早稲田大学図書館

旧仁科文書。3通が確認される。写真の武田勝頼朱印状（天正10年）は『善光寺道名所図会』にも紹介されている。ほか、上杉景勝朱印状、大久保長安神領安堵書立があり、ともに飯縄神領の安堵状である。

関連行事

10月2日 午後2時から

展示説明会

10月10日(祝) 午後2時から

記念講演会

講師 牛山佳幸氏（信州大学助教授）

演題 「戸隠二題 ～女人禁制と白沢信仰と～」

（聴講無料）

後記.....

長野市立博物館も開館以来十余年がたちました。この間に、34回もの展示を企画しました。ただ、企画する立場においては、展示準備の時に気が付かなかったことをその終了後に発見したり、自分の能力の限界を感じたりするなどしながら、繰り返すことが常でした。

今夏は、例年のない暑さでした。時候のあいさつに「酷暑」ということばを何度使ったことでしょうか。秋の特別展を開催するにあたって、この「酷暑」は本当に身にしみました。特別展以外にも多くの仕事を抱え、夏休みとは無関係の生活をしているうちに、一段落した頃にはもう秋、こんな感想をこの時期に抱く学芸員の皆さんは意外と多いのではないのでしょうか。

ひとつの特別展を開催するにも、非常に多くの労力が必要です。それは博物館の職員の労力だけではなく、たとえば共有財産を展示でお借りする場合、その代表者の方のご苦労は多岐にわたります。また、貴重な資料や、それにもまして信仰対象である仏像などの貸し出しをご承諾いただいたご所蔵者の深いご理解とご協力は、わたしたち学芸員にとってゆめ忘れてはならないことです。本展の開催にあたり関係した多くの方々に改めて心からの感謝を申し上げます。（H）



博物館だより No.29 1994.10.2  
編集・発行 長野市立博物館  
〒381-22 長野市小島田町 1414  
☎ (0262)84-9011